

平成 28 年 7 月 15 日

各 位

ゲンダイエージェンシー株式会社
代表取締役 CEO 山本 正卓
(コード番号: 2411)
問い合わせ先 取締役 CFO 高 秀一
TEL 03-5308-9888(代表)

平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想の修正に関するお知らせ

当第 1 四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、新たに業績予想の見直しを行った結果、平成 28 年 4 月 15 日付「平成 28 年 3 月期決算短信 [日本基準] (連結)」にて発表いたしました平成 29 年 3 月期の第 2 四半期連結累計期間連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A) (平成 28 年 4 月 15 日発表)	7,000	400	400	260	16.56
今回修正予想 (B)	7,600	500	500	330	21.05
増減額 (B-A)	600	100	100	70	
増減率 (%)	8.6	25.0	25.0	26.9	
(参考) 前年同期 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期 実績)	8,294	519	525	333	21.22

(修正の理由)

売上高については、広告事業において前回発表予想比で+600 百万円増加する見込みであります。

当第 1 四半期連結累計期間のパチンコホール広告市場につきましては、当期初時点においては、パチンコホールの収益性悪化により、コストダウンの圧力が強まる結果、経常的な広告需要は減少し、さらには、本年 5 月の伊勢志摩サミット開催に関連して全国のパチンコホールにおいて新台入替自粛が行われる結果、単月の入替広告需要も大幅に減少するものと予想しておりました。

当社グループでは、こうした予想を踏まえ、新規大手顧客の開拓やインターネットメディアの拡販、パチンコホール業界以外の異業種向けプリンティング事業の営業強化等に精力的に取り組んだ結果、受注の減少を最小限に食い止めることができたことから、売上高は前回発表予想比で増加する見込みであります。

また、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、主として広告事業における売上高の増加に伴うマージンの増加により、それぞれ前回発表予想比で増加する見込みであります。

なお、通期連結業績予想につきましては、この先、当社の主要クライアントである全国のパチンコホールにおいて、本年 8 月末及び 12 月末を期限として、「検定機と性能が異なる可能性のある遊技機」の撤去が予定されており、業界を取り巻く環境の不確実性が高く、広告需要の将来予測が著しく困難であることから、現時点では前回発表予想 (平成 28 年 4 月 15 日発表) を修正しておりません。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上